

新たな協同の創造3か年計画

第6次かがやきプラン (案)

第6次農業振興実践計画 (案)

(令和元年度～令和3年度)



JA東西しらかわ

II. 第6次経営改革実践3か年計画「第6次かがやきプラン」

J A東西しらかわ「新たな協同の創造3か年計画 第6次かがやきプラン」概要図

J Aの目指すべき姿 ⇒ 東西しらかわ地方の「活力ある地域農業の振興と生産者所得増大」「地域農業を「組合員・利用者に満足される事業運営」「地域農業
1. 地域農業戦略 2. 地域く
かがやく未来の実現へ努力・貢献するJ A
振興するため多くの組合員が集い参加するJ A運動の展開」
と組合員を守る強固なJ A経営の実現」の実践
らし戦略 3. 組織経営基盤戦略

I 「活力ある地域農業の振興と生産者所得の増大」

【重点実践事項】

- ①農産物の安全・安心と信頼される産地づくり
- ②担い手づくり・新規就農者支援
- ③新たな農業振興と農業所得向上対策
- ④総合的な営農指導事業の強化

【取組成果目標】

- ①新規出荷者（毎年20件）
- ②GAP・JGAP・FGAP認証取得拡大（毎年4件）
- ③経済渉外担当者による新規営農支援（毎年15件）
- ④担い手を支える体制の構築
- ⑤J A東西しらかわファームサポートと連携した委託事業の継続（水稲37,000箱 作業委託WCS75haデントコーン20ha）
- ⑥みりよく満点野菜栽培面積（55ha）
- ⑦植物工場を核とした新たな農業への取り組み（60百万）
- ⑧畜産センターを核とした畜産振興（牛温計システム率30%）
- ⑨ファーマーズマーケットを活用した地域農業の振興（5億円）
- ⑩損害賠償請求の継続

主要事業別の戦略【営農販売事業・購買事業・福祉事業】

- 営農販売事業～生産額目標42.5億円を目指した営農事業
 - ①トレーサビリティシステムの利活用、残留農薬検査の継続
 - ②営農指導員機能の発揮・栽培技術の向上
 - ③行政と連携した地域農業振興への取り組み
 - ④みりよく満点ブランドの再構築と生産基盤の拡大
 - ⑤ドローンによる農薬散布推進及び農業生産法人との連携
 - ⑥大型乾燥調製施設の設置検討
 - ⑦業務・加工向け野菜の導入と栽培技術の確立
 - ⑧米穀の低コスト省力化生産に向けた新栽培技術の確立
 - ⑨J A情報マネジメントを活かした農家経営支援
 - ⑩千葉大学との連携による栽培技術向上
 - ⑪ファーマーズマーケット
 - ・各種イベントの開催による集客
 - ・6次化商品の開発
- 購買事業
 - ①物流センターを基盤とした体制の再編
 - ②倉庫機能集約による効率化の検討
 - ③J Aオリジナル商品開発による供給高のアップ
 - ④配送業務の見直しと効率化検討
 - ⑤購買品予約注文による生産者コストの削減
 - ⑥地域特性に応じた弾力的な店舗態勢の構築
 - ⑦電算センターと連携した購買電算システムの構築
 - ⑧専門知識を有するスタッフの育成
 - ⑨購買事業収支の改善対策
 - ⑩宝飾・総合衣料品展示会の継続的実施

II 地域農業を振興するため多くの組合員が集い参加するJ A運動の展開

【重点実践事項】

- ①J Aの強みである総合事業サービスを展開し地域住民の多様なニーズに応える
- ②組織基盤拡充のための組合員加入対策と農業継承対策
- ③食と農・地域とJ Aを結ぶ機会の充実
- ④J A支店を拠点に地域コミュニティの再生に向けた地域くらしの戦略の実践
- ⑤介護保険事業の展開によるセーフティネット機能の発揮
- ⑥住み慣れた地域での生活を守る・支え合う取り組みの実践
- ⑦多くの地域住民が参加する周年記念イベントの開催
- ⑧管内の各学校で活躍する学生への支援

【取組成果目標】

- ①正・准組合員の加入促進目標
 - ・正組合員数加入 60名（毎年20名純増）
 - ・准組合員数加入 240名（毎年80名純増）
- ②どろんこバレー開催による地域住民との接点強化
- ③食農教育として、バケツ稲実施とちやぐりん本の贈呈
- ④わくわくグループ活動の拡大（発表会参加者：目標310名）
- ⑤健康増進活動として「組合長ゴルフ大会」の開催
- ⑥健康教室の開催（女性部対象）
- ⑦健康寿命100歳プロジェクト活動の応援
- ⑧准組合員による「地域農業の応援団づくり」の具体化

○福祉事業

- ①居宅介護支援事業所の体制強化（目標120件）
- ②系統厚生病院との連携強化
- ③介護福祉士・ケアマネジャー資格取得推進
- ④訪問介護員の人員確保対策
- ⑤福祉事業利用額目標（88百万）

主要事業別の戦略【信用事業】

○信用事業戦略

- ①農業メインバンク機能の強化
 - ・農業融資専任担当者と経済渉外担当者の連携を強化し農家農家訪問・情報収集と相談機能発揮
 - ・農林中金との農家同行訪問実施・農家ニーズの把握
- ②生活メインバンクの機能の強化
 - ・年金・給振口座指定、J Aカード、キャンペーンを通じた貯金の獲得
- ③競争力を備えた効率的な事業推進体制の構築
 - ・キャッシュレスを見据えたATMの削減
 - ・投資信託取扱に向けた体制の整備
- ④健全性確保に向けた更なる取り組み
 - ・J Aバンク基本方針の遵守
 - ・会計監査人監査に対応した適正な債権管理の徹底

III 組合員・利用者に満足される事業運営

【重点実践事項】

- ①地域の実情に合わせた自己改革の実践
- ②コンプライアンス遵守態勢の強化
- ③競争力を備えた効率的な事業推進体制の構築
- ④信用事業健全性確保に向けた更なる取り組み
- ⑤契約者数確保に向けた総合保障の提供強化
- ⑥新たなJ Aファンづくりに向けた農業・地域に貢献する取り組み強化
- ⑦事業の効率化・契約者対応力の強化及び信頼性の向上
- ⑧総合ポイント制導入による組合員・利用者への還元
- ⑨本体事業の見直しと子会社の再編

【取組成果目標】

- ①主要事業の取組高並びにシェア伸長
 - 信用事業 個人貯金 520億円・貸出金 160億円
 - ・農業融資新規実行額 3.5億円
 - ・給与振込 130件
 - ・年金友の会会員数 5,600名
 - 共済事業
 - ・長期共済保有高 2,555億円
 - ・長期共済新契約目標 920万ポイント
 - 購買事業
 - ・購買品供給高 23.4億円
- ②子会社
 - ファームサポート
 - ・水稲育苗事業 37,000箱
 - ・稲刈・畦畔塗等作業 20ha
 - ・稲WCS 74ha
 - ・デントコーン 12ha
 - ・水稲（飼料用米等） 12ha
 - ・大豆 15ha
 - やすらぎの杜
 - ・取扱件数 190件
 - ・取扱金額 30,000万円
 - ・会員の獲得 200名増
 - グリーンファーム
 - ・販売頭数 90頭
 - ・販売金額 6,000万円

主要事業別の戦略【総務・企画・監査】

○総務・企画・監査

- ①総合事業発揮のための健全経営の確立
- ②コンプライアンスプログラムの実践
- ③内部統制システム基本方針の運用
- ④会計監査人監査に耐えうる水準の内部統制を確保

IV 地域農業と組合員を守る強固なJ A経営の実現

【重点実践事項】

- ①組合員による「アクティブメンバーシップ」の確立
- ②組合員数の維持・拡大
- ③J A運動を支える人材育成の強化
- ④組合員・利用者への情報発信強化
- ⑤地域の実情に応じた自己改革の実践
- ⑥ご意見箱による組合員・利用者の意志を経営に反映
- ⑦金融リスクマネジメントの徹底
- ⑧経営分析の強化
- ⑨適正な体制整備と職員配置
- ⑩地区別総代会の定期的開催による正組合員の多様なニーズに応える経営の実現
- ⑪事業管理費の見直しと効果的な経営資源の投下
- ⑫内部管理態勢の確立
- ⑬経営の健全性の確保
- ⑭収支マイナス部門の収益力強化対策
- ⑮会計監査人監査導入による厳格な財務管理

【取組成果目標】

- ①適正利益の確保と自己資本比率の向上
 - ・当期剰余金 69百万円
 - ・自己資本比率 16%以上維持（国内基準4% J Aバンク基準8%）
 - ・不良債権比率の圧縮 1.32%目標
- ②J Aを支える人材育成
 - ・認証資格の取得
 - 職員上級 15名（毎年5名）
 - 職員中級 15名（毎年5名）
 - 職員初級 15名（毎年5名）
 - 内部監査士 6名（毎年2名）
 - 営農認証資格 6名（毎年2名）

主要事業別の戦略【共済事業】

○共済事業～保有高2,555億円堅持に向けた取組み

- ①契約者数の確保に向けた総合保障の提供強化
 - ・地域の特性に応じた推進・保全での取組み強化と体制整備
 - ・3Q訪問活動の内容の充実
 - ・スマイルサポーター・共済代理店による保障提供の取組み
- ②新たなJ Aファンづくりに向けた農業・地域に貢献する取組み
 - ・自己改革の継続・深化と組合員・地域住民への理解促進に向けた取組み
 - ・地域・農業活性化積立金を活用した地域貢献活動の取組み
- ③事業効率化・契約者対応力の強化及び信頼性の向上
 - ・事務負担軽減に向けた取組みの強化